

## 神戸医療福祉専門学校三田校 事業報告

### ① 設置学校・学科・課程

神戸医療福祉専門学校三田校（三田市福島501-85）

理学療法士科	昼間部	4年制課程
作業療法士科	〃	4年制課程
言語聴覚士科	〃	4年制課程
救急救命士科	〃	2年制課程
義肢装具士科 4年制	〃	4年制課程
義肢装具士科	〃	3年制課程
整形靴科	〃	2年制課程
整形靴科 1年制	〃	1年制課程

### ② 施設・設備の状況

所在地：兵庫県三田市福島501番85

校地面積：4,943 m<sup>2</sup>

校舎面積：7,707 m<sup>2</sup>

第1校舎	普通教室	9室	実習室	2室
	学生ホール	1室	図書室	1室
第2校舎	普通教室	2室	実習室	4室
第3校舎	普通教室	1室	実習室	4室
第4校舎	普通教室	7室	階段教室	1室
	保健室	2室	教員室	1室
	コンピュータルーム	1室	実習室	11室

### ③ 海外研修・留学

海外研修

救急救命士科 アメリカ（2019年4月14日～4月20日）

サウスウエスタンカレッジ 見学、講義（パラメディックコース）

- ・校内見学・講義「薬剤、CPRの講義」「アメリカの救急医療について」
- ・民間救急ヘリ見学・消防署見学
- ・水難救助訓練・解剖実習

理学療法士科 オーストラリア（2019年8月24日～8月31日）

ラ・トロープ大学での研修

Mill Park Physiotherapy Centre 見学

- ・講義：ピラテス、テーピング、理学療法士の開業について

- ・解剖学実習（人体解剖・下肢）
- ・超音波講義と実習
- ・歩行パターンの分析 等

作業療法士科 オーストラリア（2019年8月24日～8月31日）

ラ・トロープ大学での研修

- ・バララット病院見学
- ・講義：福祉用具、作業療法士の開業について
- ・解剖学実習（人体解剖・上肢）
- ・日常生活動作講義と実習

言語聴覚士科 オーストラリア（2019年5月4日～5月10日）

クィーンエリザベスセンター・ベースホスピタルでの研修

- ・講義：小児・成人領域の海外事情について
- ・発達障害児、失語症患者の言語セラピー嚥下訓練見学

整形靴科 ドイツ（2019年10月20日～10月26日）

フランクフルト・Waldi 社 靴メーカー見学

- ・Starke Schuhe 社 整形靴工房見学
- ・Siebenlehn マイスター学校見学
- ・SPENLE 木型メーカー見学

④ 就職活動状況（就職希望者就職率※国試不合格者除く）

理学療法士科	34名中34名就職	100%
作業療法士科	21名中21名就職	100%
言語聴覚士科	18名中18名就職	100%
救急救命士科	44名中38名就職、	86%
義肢装具士科4年制	16名中16名就職	100%
義肢装具士科	18名中18名就職	100%
整形靴科	18名中18名就職	100%
整形靴科1年制	2名中 名2就職	100%

⑤ 特色ある事業活動報告

\* 3月3日から義肢装具士科の教員を中心に、手作りマスクを製作し、地域連携授業でお世話になっている三田市社会福祉協議会に寄付しました。

理学療法士科

- ・1年生、2年生の社会福祉協議会への実習

1年生は「高齢者と適切にコミュニケーションを取る」ことを、2年生は「理学療法士として患者様に医療面接を適切に実施する」ことを目的として実施した。対象は、社会福祉協議会を利用されている約40名の高齢者で、方法は、学生主体のレクリエーション後、30分のフリートークの時間を設けた。結果、1年生は敬語の使い方、姿勢や視線、また共感の仕方などが勉強になり、2年生は、こちら側が聞きたいことを適切な時間内で聞くこと、相手のペースに巻き込まれずに話すことの難しさを感じたようだった。

また、「いきいき百歳体操」の指導を通じて、効果判定の評価を学生が主体として行った。

- ・産学連携として、三田市社会福祉協議会デイサービス事業（障害者デイサービスセンター、高齢者デイサービスセンター）に1,2年生が「地域活動演習」で参加した。

#### 救急救命士科

- ・神戸市消防学校体験入隊

1年生の導入教育として、規律訓練を実施

- ・三田学園CPR講習会

地域貢献事業として、高校での心肺蘇生講習会を教員と1年生で指導。

- ・スチューデントラリー

2005年より2年間の総括としてシミュレーション技術研修会「スチューデントラリー」を開催している。スチューデントラリーとは模擬傷病者を観察して、的確な判断、処置を行えるかを競い合う競技会である。実習班6チームで直前まで会場さえ知らされてない6つのステーション（異なる症例）を回り、合計点で順位を決定する。毎回、医師、看護師、救急救命士、卒業生など100名以上にも及ぶスタッフの協力のもと運営。保護者の皆様には立派に成長した学生達の姿を見て頂く絶好の機会でもあり、先輩医療従事者との交流、卒業生には卒後研修の一環として、クラス全体で行う重要な最後のイベントとして位置付けられている。

#### 義肢装具士科 4年制

- ・脳性麻痺特別講義

The Hong Kong Polytechnic University より M.S. WONG 氏を特別講師として招聘し、国際的視野を広げるための講演を行った。

- ・新しい技術の日本導入

大腿義足ソケット（NUFLEX ソケット）の伝達講習会を日本で初めて開催することが出来た。学生には新しい技術を見せることが出来たことと、業界から高い評価を頂いた。

#### 整形靴科

- ・一シューフィッティングデー『足と靴の健康相談会』

整形靴科設立当初から学園祭で実施している。学園祭前から地域の広報誌や新聞へのパブリシティ、インターネットなどで広報し、地域の方を中心に、保護者や在校生なども含めて、足と靴に関するお悩みをお持ちの方々や、自分の足に合った靴を知りたいという方々に対し、学生達が、アドバイスや靴のフィッティングを行う。実施内容としては、フットプリント採取（足圧測定）、フットプリントからわかる足の状態の説明、足の長さ・幅の採寸、現在履いている靴の消耗チェック、試着用コンフォートシューズを用いての、足に合う靴の提案とフィッティングである。また、希望者にはPOSICでの健康靴の紹介もしている。

#### ○卒業制作展示会

整形靴科卒業年次生が整形靴の啓蒙活動を目的として、卒業製作実習の授業で製作した靴をメインに、展示会の企画・広報・運営を全て自分達で行うイベントである。2019年度で17回目の開催であった。学生達はまず展示会のテーマを決め、それに合わせて展示内容やディスプレイ、ポスター、ダイレクトメール、展示会場まで考え、与えられた予算内で1年かけて準備していく。学校を含む2会場で開催し、来場者へのアンケート実施や接客対応も学生が行う。展示会を通して社会と接する経験を積めるとともに、リーダーシップや問題解決力の育成も期待されるイベントである。6日間で合計約321名の来場者を迎えることができ、新聞各紙でも取り上げられた。

### ⑥ 教職員研修

#### 4月 教職員研修

※就業規則の確認や個人情報保護、教職員のモラルについての徹底

・各学科・各部署からの事業計画発表。

・国家試験合格率100%学科の好事例発表

#### 5月 防災訓練

※火災などの災害発生時の対応について、消防署立会いのもとで避難誘導訓練を実施し、消火栓の操作や誘導時の留意点についての勉強会を実施した。

#### 8月 CPA アカデミック研修

※神戸滋慶学園3校の教職員を対象に、学校において個人情報を扱うために必要となる知識を習得した。

#### 12月 神戸滋慶学園教職員研修

※全教職員が参加し、「大学等修学支援制度とそれに伴う成績評価の定義」などについての情報共有を行い、「定員充足のためのイノベーションとリノベーション」をテーマにグループワークと発表を行い意識の共有を図った。

### ⑦ 総務・法務・リスクマネジメント

6月 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、義肢装具士、救急救命士養成施設等報告

※兵庫県医務課に対する年次報告。

8月 CPR講習会

⑧ 式典

令和元年4月4日 入学式(ANAクラウンプラザ神戸)

※4校合同で実施した。式典の第2部では、最初の授業として、救急救命士のシミュレーション実習や、在校生、卒業生のプレゼンテーションを含めた最初の授業～職業人教育とキャリア教育～「みなさんの「夢」を実現するために」を実施した。

令和2年3月16日 卒業証書授与

※新型コロナウイルス感染防止のため、予定していた4校合同開催を急遽中止とし、各校それぞれ三密を防ぎ工夫を凝らし、各学科で卒業証書を授与した。

⑨ 学生活動

- ・学園祭を学友会と学校の代表者からなる委員会で運営。
- ・クラブ活動

⑩ 同窓会・卒後教育

各学科で卒後研修会を実施

⑪ 職業実践専門課程

2019年7月20日 第1回学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会

2020年2月8日 第2回学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会